



2014 MARCH
今月の
わがまち図鑑
岐阜県歴史資料館

**岐阜県の歴史をひも解く
資料と情報の拠点。**

金華山のもと、「金華山下ライプウェイ」の夕陽丘入口近くに佇む岐阜県歴史資料館。その名の通り、岐阜県に住む私たちの財産である郷土の歴史や行政資料を、永く伝承する情報の拠点です。

資料館設置のきっかけとなったのは、置県100周年記念事業の一環として昭和38年から開始された「県史編集事業」です。11年間にわたって22巻の完成を見たこの事業では、その間に岐阜県内各地に古文書などたくさんさんの史料が保存されていることが確認されました。

そんな中、「急激に変化して



↑歴史の教科書も、もとをとどればこうした史料から成り立っている。



↑信長の「天下布武」の印章も、時とともにその判が変化していることが分かる。



「多くの皆さんに、お気軽にご利用いただければ幸いです」と吉田さん。

岐阜県歴史資料館

【開館日】月曜日から金曜日
【休館日】土、日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)
【開館時間】9:00～17:00
※資料の閲覧は9:00～16:30まで

住所:岐阜市夕陽ヶ丘4
Tel:058-263-6678
Mail:c21402@pref.gifu.lg.jp
HP:岐阜県歴史資料館で検索

いく現代社会で、これらの貴重な歴史資料が、やがてバラバラになって行方も分からなくなってしまうかもしれない」という心配の声、さらに、当時は県史と並んで市町村史の編集事業も盛んになっていたため、各地から資料の保存と研究利用のための施設設置を要望する声も上がっていました。これに加え、日本の中央に位置する岐阜県には日本史を動かす重要な史実が多く、資料館設置の声がさらに高まったのです。

そうして、昭和52年4月1日、資料の収集と保全、活用を目的とした資料館が完成。同年7月1日には開館式が行われ、一般の人にも開放されることになりました。

**貴重な史料がたくさん！
自分のルーツを辿る人も。**

「岐阜県歴史資料館には、古文書、図面、写真、行政文書など、集めたものや寄贈されたもの、寄託されたものが揃います」と話すのは、資料係長を務める吉田義治さん。「美濃を足場に天下統一に乗り出した織田信長の

の文書、天領飛驒の状況を伝える飛驒郡代高山陣屋文書、歴史人口学の史料として世界的に注目される近世農村の宗門帳、岐阜県行政文書、世界に3冊しか見つかっていない監察故談など、貴重なものも多数収蔵しています」。

資料館を訪れるのは、歴史学を教える先生や専攻する学生、さらに行政に携わる職員のほか、「自分の家のルーツを辿りたい」という人も。「いずれ、ご自分の子々孫々に伝えていきたいというお気持ちで、ご自分の生まれ育った土地のこと、ご先祖のルーツを調べに訪れる方がたくさんいらつしゃいます。図書館や市役所、お寺やお墓などを熱心に調べられて、そのうちのひとつとして資料館をご利用いただいているようですね」。

**まちづくりや授業にも！
地域の宝を発掘しよう。**

とは言い、膨大な資料のなかから目的のものを探すのは大変！今では、キーワードで検索するシステムもできました。「ホームページで検索していただく」といって、閲覧したい資料が決められていたら事前にご連絡ください。もちろん、直接窓口やお電話でお問合せいただいても大丈夫ですよ」と吉田さん。資料館のホームページでは、ダウンロードして授業に使える史料なども紹介。織田信長や伊能忠敬が実在していたと実感できる「生きた資料」は、子どもにももちろん大人にも大きな感動を与えるはず。

時には、「家にある古文書を何とか読めないか」と訪ねてくる人もいます。「資料館には専門のスタッフがいますから、解説のお手伝いをさせていただきます。1階に展示されている資料の解説などもいたしますので、お気軽に受付で声をかけてください。今、いろいろなか所でまちおこしが盛んですが、資料館はそれにも役立ちます。歴史や文化、特性は、まさに地域の宝。よく調べていただければ、まちづくりの新しい切り口をきつと見つけていただけたらと思いますので、ぜひ資料館をご利用ください」。

伊能忠敬が測量や製図に使用した道具も描かれた伊能忠敬測量隊「中呂村書上書」

西軍有利に見えるも、結果は東軍の勝利!「関ヶ原合戦御陣場図」

信長の天下統一に向けての知略や願いを読み取れる「小武弥三郎宛信長朱印状」

収蔵品の一部を見てみよう!

郷土の貴重な史料を伝承!

岐阜県歴史資料館

わがまち「岐阜」を深く知るために、その魅力を再認識するために、自分のルーツを辿るために、大きな力を持つ史料の数々。ここ、岐阜県歴史資料館で新しい発見をしてください。



上/旧消防学校跡地に建てられた岐阜県歴史資料館。多くの貴重な史料が収蔵されている。右下/1階には、史料のレプリカや写真、パネルなどを展示。無料で入館できるので、気軽に足を運んでみて。左下/県民の生涯学習の場としても活躍。定期的に講習会や公開講座が行われるので、興味のある人はチェックを!